

加賀中ブロック大会規定

1. 試合は、2017年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」及び一部能美支部ローカル・ルールを適用し、試合球は公認C級とする。
2. 監督・コーチは、20歳以上の成人とし、チームと同一のユニホーム・スパイクを着用すること。また、監督の背番号は30番、コーチは29番と28番とする。なお、選手の背番号は0～27番とし、主将は10番をつけること。
3. 選手登録（ベンチ入り）は、1チーム20名までとし、選手以外のベンチ入りの大人は、監督、コーチ2名、スコアラー1名を含めて5名以内とし、監督及びコーチ以外はユニホームを着用しなくてもよい。（但し、自チームの帽子着用的事）
4. 打順表の提出は、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前に、第2試合以後は前の試合の4回終了時に監督と主将が大会本部に提出し、原簿と照合ののち、球審立会のうえ攻守を決定する。打順表は5部提出するものとする。（1部返却）
先攻・後攻は、トスで決定する。トス時間にトス会場にこないチームは、棄権とみなす。
5. 試合は7回までとし、時間は**2時間30分とする**。
6. 試合終了後（7回終了後）、同点の場合は特別ルールを適用するが、時間優先とする。

*特別ルール

両チームが1日1試合及び2試合の場合

規定回終了時又は制限時間を超えた時点でのインニング終了時において同点の場合は、特別延長戦を行う。なお、決勝戦を除き、特別延長戦は最長2インニングまでとし、決着しない場合は抽選とする。抽選方法は、本部指示にしたがうこと。

《特別延長戦（プレーオフ）》

両チームとも無死満塁とし、打順は前インニングの継続打順とする。走者は、前インニングの最終打者を1塁走者、2塁・3塁の走者は順次前の打者とする。なお、代打・代走を送ってもよい。また、投手・野手を交代させても何ら差し支えない。ただし、一度出場し交代した選手は、出られない。特別延長戦（プレーオフ）は、時間制限なしとする。

7. 点差によるコールドゲームの成立は、5回終了以後7点差とし、降雨の場合は5回終了時点で試合は成立するものとする。（コールドゲームに関して決勝戦・第三代表決定戦は除く）
8. ベンチは、抽選番号の若い方が1塁側とする。
9. 試合中における抗議権や選手交代は、監督又は当事者に限り認めるが、試合の迅速化に協力すること。
10. 打者、次打者、走者及びランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。また、捕手は控えの選手も含めて、ヘルメット、マスク、プロテクター、股間用保護具（ファウルカップ）及びレガースを必ず着用しなければならない。
11. 試合中の手袋は白又は黒のみ許可する（ツートンはだめ）。また、リストバンドは原則禁止とする。ただし、何らかの事情で包帯やキズバンを使用したい時は、大会本部に申し出ること。必要に応じて認めることもある。
12. グラウンド整備や試合の進行は、能美学童野球連盟運営委員が責任をもって行う。ただし、グラウンド整備には各チームが協力すること。

13. 野球用具は、全日本軟式野球連盟が公認したものであること。
14. 各試合の選手登録表提出後は、選手の変更及び背番号の変更は認めない。
15. シートノックは後攻より5分間行う。ただし、天候等の事情により行わない旨を大会本部より指示することがある。また、当日2試合目となる場合にはシートノックは行わない。
16. 投手は、1日7イニングまでとする。但し、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。投球イニングに端数が生じた時の取り扱いについては、3分の1回（アウト1つ）未満の場合であっても、1イニング投球したものとして数える。3年生以下にあつては、1日5イニングまでとする。
17. その他の事項については、審判員の指導に基づき、試合を遂行する。
18. 応援席の整理整頓は、当該使用チームが責任をもって当てること。
19. 野球場等の施設の、試合当日の最後の整理整頓は、最終試合における両チームが責任をもって行うこと。また野球場管理棟の清掃については、最終ゲームの勝利チームが行うこと。
20. 開会式は、ユニホームを着用した登録選手以外の選手の参加を認める。
21. ベンチ内の缶入り飲料は持ち込みを禁止し、その他についても、ベンチ後方にて飲料すること。
22. 試合中は、当該チームから2名以下の放送係を出して、試合進行に協力すること。
23. 審判への給水について
 - 給水は、本部席・運営部にて行う。
 - 給水を行う回は、試合開始前に審判と本部席で協議し決定する。
 - 給水は一塁側のグラウンドの外で行い、グラウンド内に入らない。
 - 給水を行う時には、給水のアナウンスを放送する。

試合上の注意事項
別紙参照

試合上の注意事項

- ① 大会趣旨を十分に理解し、目に余る行為をしないこと。
- ② バット・ヘルメット・ボール等は、グラウンド内に置かないこと。
- ③ 投手の滑り止め（ロージン）は、各チームで用意すること。
- ④ 各回の先頭打者、次打者及びランナーコーチは、ミーティングに参加しないで直ちに定位置に着くこと。
- ⑤ ラフプレイは、絶対に許されない。特に、足を高く上げてのスライディングは危険であるため禁止する。
- ⑥ 攻守交代は、元気よく全力疾走で行うこと。
- ⑦ 野手は、走者に対して、どの塁にかかわらず、一角をあけること。
- ⑧ 内野手の転送球は、試合進行の関係から、原則として、これを行わない。
- ⑨ 指導者の選手に対する暴力的行為や指導者としてのあるまじき行為は、許されない。
- ⑩ 応援について、鳴り物、うちわ及びメガホン等の使用は禁止する。
- ⑪ 個人的に攻撃するヤジは、絶対に行わない。ベンチからだけでなく、応援席もこれに倣うこと。
- ⑫ ショートの守備 二塁ランナーへのブラインド禁止（牽制時等）
- ⑬ ホームランを打った後の走者に対して走塁中の身体への接触の禁止
- ⑭ 一・三塁への牽制時の偽投の禁止（最初からボークを取ります）

- ⑮ 監督【30】、コーチ【29】【28】、及び登録選手以外は、グラウンドに入らないこと。
- ⑯ 試合前のアップについて、トスバッティング、フリーバッティング、バント練習などバットを使用してのアップは禁止します。第一試合のチームで早めに球場入りしアップを行う場合は、アップシューズで行い、シートノック前に速やかにスパイクに履き替えて下さい。第二試合以降のチームは、アップ時間が非常に短いので、スパイクでアップすることを許容する。
但し、大会のスムーズな進行上、シートノックの準備または試合開始のアナウンスが入ったら直ちにアップを終了し、速やかにベンチに戻って、次の行動の準備をすること。
- ⑰ ブルペン使用について、次試合チームのブルペン使用はトス完了後から先発投手のみ使用可とする。捕手については控え捕手でも構わないが、必ず防具を着用すること。
尚、現試合中のチームとブルペン使用が重複する場合は、チーム間で調整すること。
- ⑱ 開会式の行進は、アップシューズまたはズックを履くこと。

以上